



なかたまの学び舎

園だより 6月

令和7年6月号
世田谷区立中町幼稚園
園長 佐藤 幸子



優しい雨

園長 佐藤 幸子

日本には、雨の降り方、雨量、季節そして、場所により『霧雨』『春雨』『夕立』等、様々な表現があります。雨は草花や木、野菜、そして何より私たちの生活に必要な水となりとても大切です。

さて、子どもたちに降り注ぐ優しさを雨に例えてみたいと思いました。以前、私は子どもから「先生、優しくしてもらってから優しくなれるんだよ」と言われたことがあります。また「優しい気持ちで絵を描くから優しい絵が描けるんだよ」と言っていた子どもがいました。その瞬間私は、心が温まり、優しさは子どもに伝わり、子ども自身が人に対して優しい気持ちで関わろうとすることにつながるんだなあ、と思ったことを今でも覚えています。

子どもたちに、雨のように優しさを降り注ぐことはとても大切で、自分の気持ちを受け止めてもらえる安心感、自分らしくていいんだね、という自己肯定感につながり、温かいぬくもりが土台となって子どもたちは毎日を思い切り過ごせるのだと思います。改めて“優しさ…”について考えると、子どものどのような思いも受け入れることか…。子どもがしてほしいことを全てしてあげることか……。皆さんも考えたことがあるのではないのでしょうか。子どもの気持ちに寄り添うことは大切です。これから、大きくなっていく子どもたちが生きていく時代はどのような時代でしょう。私は、子どもたちが自分らしく、様々な人と関わりながら心豊かに過ごし、自分も人も大切に気持ちよく生活してほしいと願っています。そのためには、子どもたちがじっくり考えたり、葛藤したり…することも大切なことだと思っています。

子どもたちに優しさの雨を降らせてくださっている保護者の皆様！皆さんが降らせている“優しい雨”は、子どもたちが「よし、明日も頑張るぞ」というパワーになり、更にはぬくもりいっぱいにくすぐと育つ大切な雨です。心が柔らかい今、たくさんの“優しい雨”を降り注ぎたいですね。



6月の教育目標

◇年少組

- ・いろいろな遊びや活動に興味をもって参加したり、教師や友達と触れ合ったり遊んだりすることを楽しむ。
- ・所持品の始末や生活習慣など、できることを自分でしようとする。

◇年長組

- ・気の合う友達と遊ぶ中で互いの考えを出し合ったり遊びを進めていったりしようとする。
- ・身近な動植物に興味をもち、世話をしたり生長を楽しみにしたりする。